



<今月のご案内>

黒松内版 森林療法体験会 おさんぽの会

歌オ森林公園のコース(往復約3キロ)を、季節の自然を楽しみながらゆったりと歩きます。五感をつかって、心も体もリフレッシュしましょう！

【日 程】7月19日(日)

<今後の予定> ・9月20日(日)
・10月18日(日) ・11月15日(日)

【時 間】10:00~12:00(目安です)

【集 合】黒松内温泉ぶなの森 左側集合

【持ち物】ウォーキングしやすい服装、靴、帽子、飲み物、虫よけ など

【参加料】町民無料、町外参加者1組500円

【その他】申込不要。雨天中止・小雨決行

ブナセンターは(月)(火)休館です 祝日は開館しています

川でみつけよう！



黒松内の川には、かつてここが海だった時代の貝の化石が捕れる場所や、網を使って気軽に小さな魚を捕れる場所があります。ブナセンターでは、これらの貝化石や魚をとるための道具を貸し出しています。場所やとり方は貸出し時にご案内します。

貝化石



★道具★ドライバー、くぎ、スコップなど

★期間★ 6月~9月

※川の水量やヒグマの出没状況によって変更する場合があります。

★とれる化石★ 100万年前の貝などの化石

魚とり

★道具★ タモ網、箱メガネ、バケツ

★期間★ 6月~9月

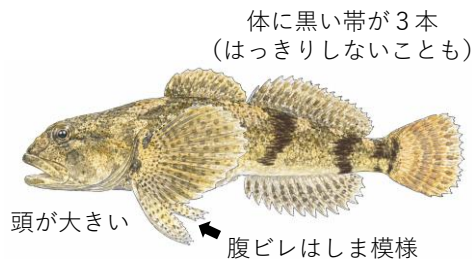
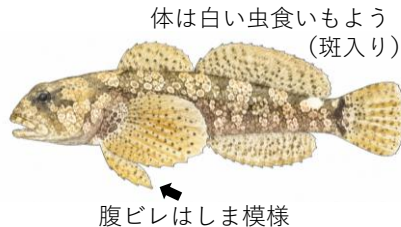
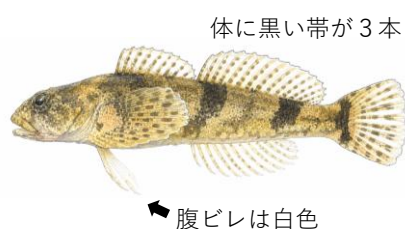
★とれる生き物★ ウキゴリ、カジカ、ヤマメ、スジエビなど

※ライフジャケットをご持参ください。川の増水時には入れません。



朱太川のカジカ ~川のつながりを知る指標~

川を箱めがねでのぞいてみると、ずんぐりとした体で、ぺたっと川底にたたずむ魚がみられるでしょう。これはカジカの仲間。大きな頭と胸ビレをもち、体色を周りの色に合わせて変えています。朱太川では、以下の3種類のカジカが確認されています。



カジカ中卵型

5~6月にふ化して海へ下り、初夏に川に上る。川の下流~上流に生息。

カンキョウカジカ

5~6月にふ化して海へ下り、初夏に川に上る。中流の流れの早い瀬に生息。

ハナカジカ

一生を川で過ごす。左の2種よりも上流域に生息。貪食。

カジカは川のぼりがあまり得意ではありません。いちど海へ下るカジカ中卵型とカンキョウカジカは、川の中に堰堤(えんてい)や堰(せき)などの垂直な壁などの落差があると、それ以上、上流へは上れません。人工物が少ない朱太川では、上流の方までカジカ中卵型とカンキョウカジカの分布が確認されています。

ブナセンターでは、朱太川のカジカ調査をされている田原大輔先生(福井県立大学)の協力により、7月より館内で、カジカの水槽展示をします。ぜひ観察しに来てくださいね！

参考: 宮崎佑介(2017)「朱太川水系の魚類【第2版】」後志地域生物多様性協議会

日本淡水魚愛護会「カジカ種群」<https://tansuigyo.net/a/link7-13.html> (2026/5/24閲覧)

田原大輔・中野光・竹下直彦(2025)「河川構造物の少ない朱太川における回遊性カジカ類2種の遡上・生息分布」日本魚類学会ポスター発表



歌オブナ林は2028年
に天然記念物指定
100周年を迎えます



Facebookの
QRコードは
こちら

発行所: 黒松内町ブナセンター
〒048-0101 北海道寿都郡黒松内町字黒松内512-1
TEL 0136-72-4411 FAX 0136-72-4440
MAIL bunacent@host.or.jp HP <https://bunacent.host.jp>
FB <https://www.facebook.com/kuromatsunai.bunacent>